



2学期の始業式を行いました。

校長から、始業式において、次のような話を子どもたちにしました（概要です）。

2学期は学期の中でも1番長く、約4か月間あります。全校児童による運動会、授業参観＋文化祭、6年生は修学旅行、3～5年生は社会見学と、行事がたくさんある学期です。秋は、実りの秋、勉強の秋、スポーツの秋とも言います。秋の前に何かをつければ言葉ができるくらい充実した期間となります。

さて、2学期みんなに頑張ってもらいたいことが3つあります。1つめは「あいさつをしっかりとしよう」です。あいさつは、1日の人と人との出会いの始まりです。地域の皆様やPTA地区委員の皆様が子どもたちの登下校を、毎朝夕、見守ってくれています。相手の目を見て「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」とあいさつをして、地域の皆様とのつながりをつくってほしいと思います。

2つめは、「なかまのことを大切にしよう」です。1学期は上級生がしっかりと下級生の面倒をみてくれたり、学級のなかまが困っているときに助けたりしてくれました。2学期も相手のいいところをたくさん見つけ、楽しく過ごして、なかまとのかけがえのないつながりを築いてほしいと思います。

3つめは、「人の話をしっかりと聴こう」です。学校ではさまざまな活動がありますが、一人ひとりが勝手なことをしていたら、なかなかうまく進みません。2学期から読書ボランティアの皆様が朝の時間を使って、本の読み聞かせやブックトークをしてくれます。静かに集中して聴いてほしいと思います。

そして、あたり前のことですが、チャイムで授業が始められるようにしてほしいと思います。9月や10月はまだまだ暑いからです。気分もだるさがちです。1学期のようにみんなのことを考えて、チャイムが鳴ったら授業が始められるような環境を、みんなで作ってほしいと思います。

1学期は、委員会活動もしっかりとできて、掲示物もきれいに貼られていました。環境委員会のみんなが忘れずに水をやってくれたおかげで、花壇にはきれいな花が咲き誇っていました。学校生活を自分たちの手でより良い方向へと持っていけるように、5,6年生には、リーダーとして期待をしています。

再保に、2学期を元気に過ごすために3つ話をして終わります。1つめは夜ぐっすり寝ることです。そして2つめは朝ごはんをしっかりと食べることです。3つめは朝トイレに行って、うんこをして、すっきりして学校に来ることです。身体を元気に保つことが、感染症のウイルスや熱中症から身体を守ることにもつながります。毎日3つのことをしっかりとやって、2学期も健康で元気に過ごしましょう。

「読書ボランティア」を募集しています。

7月中旬、地域にお住まいの有志の皆様(3名)にお集まりいただき、子どもたちに読み聞かせをしていただく「読書ボランティア」を組織していただきました。現在、本校は水曜日に10分間、朝読書の時間を設けています。特に低中学年の子供たちは絵本を読んでもらうことが大好きで、朝読書の時間には、時折担任の先生から絵本の読み聞かせをしてもらっています。みんな真剣なまなざしで、絵本を食い入るように見つめ、話の内容を聞き入っています。



平成25年の文部科学省の調査によると、「小さい頃に読み聞かせをしてもらっていた家庭の子どもは、学力が高い傾向にある」という結果も出ているそうです。さまざまな文献を見ると、その中に、「絵本の読み聞かせを行うことで、子どもは「コミュニケーション能力が向上する」「語彙力が鍛えられる」「記憶力が向上する」「文章理解力が向上する」といった効果がある、といったことが書かれています。

コロナ禍が2類から5類に移行し、感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じになりました。現在学校では、状況を見ながら少しずつ教育活動をコロナ禍以前への状態へと戻しています。

今回、きらら推進委員会(コミュニティスクール運営協議会)でのご意見も踏まえ、「読書ボランティア」を立ち上げ、復活することにしました。これまでも本校で、読み聞かせやブックトークをしていた地帯の方がお見えだとも聞いています。保護者や地域住民の皆様の中で子どもたちに読み聞かせをしていただける方がお見えでしたら、一度、水沢小学校(TEL329-2334)までお電話いただくとありがたいです。よろしくお願いします。

(文責 北住 昌文)